

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2650

2020-21

Vol. 11

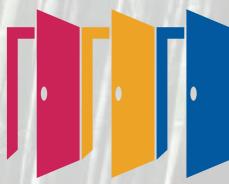
5
2021

CONTENTS

- P2ガバナーメッセージ
- P4地区大会
- P7会員数の増減及び出席率表
- P8会員の動き

新型コロナウイルス感染第4波

嵯峨野



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
国際ロータリーテーマ

国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

Rotary

ロータリーの原点に返る
誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ

国際ロータリー
第2650地区スローガン

国際ロータリー第2650地区
ガバナー
松原 六郎

青少年奉仕月間

あの時のミャンマーの子供たちへ

月間のテーマとは外れるかもしれません、青少年奉仕と聞くと、かならず浮かんでくる思い出があります。

現在、ミャンマーはラカイン州のイスラム教徒の問題を抱えています。それでも、国の大半の人たちは敬虔な仏教徒であり、大人しく優しい人たちです。人々は托鉢の僧侶に毎朝食べ物をささげ、稼いだお金で時々は金箔を買い仏像に張り付け、祈りをささげます。他人に対しても暖かく親切な国民性は、特筆すべきだと思います。

2000年、私は、故西村二郎PGのもと、空港近くのヘーホーという村に、2650地区WCS委員長として、校舎とトイレを建てる事業とポリオワクチン投与に参加しました。

2008年、橋本長平PGからの1本の電話で呼び出され、京都南ロータリークラブの小西清茂元地区WCS委員長と3名で、再びヤンゴンの飛行場に降り立ちました。

1か月前、ミャンマー南部のイラワジ川河口のデルタ地帯を襲ったサイクロンナルギス。その被災者への支援でした。5月3日深夜に襲ってきたナルギスは、強風と、未明に起きた4～7mの高潮の被害で、13万人を超える死者と行方不明者を出した大惨事でした。

まず、ヤンゴンで物資を調達し、輸送する準備です。この段階で、驚いたことに、日本語通訳の人たちは無償で同行してくれるというのです。また、たくさんの若者がボランティアとして参加してくれました。



国際ロータリー第2650地区
2020-21年度 ガバナー

松原 六郎

米500グラムの袋、玉ねぎ、ジャガイモ、塩、シャツ、ナベなど、調達した物資を、1家族分にセットし、大きな袋に入れ、ひとまとめにしていきます。彼らは、徹夜で、2000家族分の仕分け作業をやり抜きました。

直ちに、バスとトラックでエーヤワディ・デルタ地方に向かって出発、コンチャンゴン市に向けて、故障車を助けたり、こっちの車も故障したりしながら、穴だらけの道200キロを20時間かけて走りました。

到着した朝、走ってきた我々の車を見つけた女性が、小躍りして喜んでくれる姿を見た時には胸が熱くなってしまいました。急いで物資の配給を始めました。人々は整然と並び、喧嘩も奪い合いもなく、「サンキュー・ロータリー」と誰から教わったのか、片言の英語で答えてくれました。

あれから、13年。あの時の2650地区会員のご厚意を忘れることができません。そして、サイクロンの被害を乗り越えてなお、私たちを笑顔で迎えてくれた子供たち。あの子供たちは、現在成人となって、今のミャンマーでどう生きているのだろうか・・・。それを思うたびに気になってしかたがないのです。

松原 六郎

国際ロータリー第2650地区 2020-21年度

地区大会

Rotary 国際ロータリー第2650地区 2020-21年度 地区大会 本会議



DISTRICT 2650

2021年4月4日(日)

京都ホテルオークラ 4階 晓雲の間



開会挨拶

ガバナー

松原 六郎

(福井フェニックスRC)

本日、宮崎茂和パストガバナーをエイドに、R.I.元理事・元ロータリー財団トラスティ・公益財団法人ロータリー日本財団理事長・パストガバナー 千玄室 大宗匠のご臨席を仰ぎ、各パストガバナー、クラブ会長幹事様、ローター・アクターの会長様、そして、本配信をお聞きいただいている皆様、本日はようこそ地区大会にご出席いただきました。只今から、地区役員、地区委員会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

本日はネットでご参加の会員も多く、クラブによっては例会場のホテルに大画面を設置して参加いただいている皆様もおられるとお聞きしております。そして、若きローター・アクター、インター・アクター、学友、奨学生の皆様にもご参加いただいております。私達地区役員、地区委員会は伝統の第2650地区運営を佐竹直前ガバナーから引き継ぎ、「ロータリーの原点に返る」をスローガンに、皆様とご家族と会社のスタッフ様のご健康と安全を最優先にこの一年歩んで参りました。

本来ならば、我らが福井の地で白山の白き頂きを仰ぎ、足羽川の満開の桜の下に皆様をお迎えし、盛大な地区大会を行う予定でした。しかしそれも叶わず、京都ホテルオークラのご厚意でここに縮小版ではありますが、地区大会を開かせていただく事となりました。本日は大宗匠のご講話をいただき、また、ロックダウン中のフィリピンマニラからWHO西太平洋事務局長の葛西健先生から特別講演をいただくことになっております。

大宗匠におかれましては、この度R.I.会長代理をお呼びしないという私の想いを受け入れていただき、そのお役をお引き受けいただいたこと、この上もない喜びであります。また、葛西様におかれましては、感染拡大からアジア19億人の命と健康を守るトップリーダーとしてのお立場の中お時間をいたいたしたこと、心から感謝申し上げます。各種表彰もさせていただきます。そしていよいよ、次年度ガバナー、馬場益弘ガバナーエレクトにバッジをお渡し致します。どうか、わずかな時間ですがお付き合いのほど、宜しくお願ひ致します。

終わりに、今日まで共に歩んで参りましたガバナー補佐、地区委員、幹事団、ガバナー事務所職員、ホテルオークラのスタッフ、オンライン中継を担当していただいたスタッフの皆様に心から感謝を申し上げ、私のご挨拶とさせていただきます。

本日はどうか宜しくお願ひ致します。

特別講和

「ロータリーと人生」



元RI理事、元ロータリー財団トラスティ
(公財)ロータリー日本財団理事長
第2650地区パストガバナー 千 玄室 氏



特別講演

「西太平洋地域の CDVID-19 の状況と今後の展開について」

世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局長

かさい たけし
葛西 健 氏





謝　　辞

幹事長

梅田　　真
(福井フェニックスＲＣ)

本日は2020-21年度地区大会にご参加いただき、誠にありがとうございました。今年度は異例の地区運営が続いており、常に新たな局面と向き合いながら手探りで進めた9か月間でした。

福井での通常の地区大会の開催を断念してから、一度は完全中止もやむを得ないと判断に至りましたが、この間地区内の各クラブ様からの様々なご意見を賜りました。中でも会長と幹事くらいは呼んでもらわないと1年間クラブを預からせてもらった証しがないという強い想いでした。最終的に幹事会で検討を行い、縮小版地区大会を京都で開催してはどうかという話になりました。

京都での開催は人の移動を最低限に抑える必要からの苦渋の決断でしたが、本日を迎える直前まで午前午後若しくは午後だけの開催にするかどうかの検討を行い、直近での感染拡大傾向を踏まえて半日の開催とさせていただきました。

そのため午前中に予定しておりました会長・幹事・地区委員長懇談会を中止した関係上、委員会の皆様にご作成頂きました委員会報告については上映を割愛せざるを得なくなり、大変申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。

今回の地区大会の開催にあたっては、地区役員、ガバナー補佐、各委員会の皆様、96クラブの会員及び事務局の皆様、ガバナー事務所の職員の皆様のご尽力とご協力があって初めて実現できたものであり、この場をお借りして改めて深く感謝申し上げます。

本日の運営に置きましても種々至らない点も多かったかと存じますが、ロータリーの友情に免じてお許し賜ります様お願い申し上げます。

本日はありがとうございました。



地区大会を終えて

ホストクラブ
福井フェニックスＲＣ会長
竹内　順子

国際ロータリー第2650地区2020-21年度地区大会を無事に終えることができ、地区内のロータリアンの皆様方に、ホストクラブを代表致しまして厚く御礼申し上げます。

福井の地で皆様をお迎えするべく準備を進めて参りましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の地区大会は、4月4日一日のみ京都での開催となりました。

人と人が距離をおかなくてはならないコロナ禍の今だからこそ、これまで当たり前のように行なっていた地区大会の重要性や、ロータリアン仲間と直接会って話し合うことの大切さを改めて実感する場となりました。

様々な困難のなか、それでも「ウィズコロナ」の時代ならではの初めての試みと致しまして、YouTubeでのライブ配信を、会員の皆様にご覧いただけるようにいたしました。元ＲＩ理事・パストガバナー千玄室様やWHO西太平洋事務局長の葛西健様のご講演は会場で話を聞いているようにリアルに聞こえたのではないかと思います。

地区大会は、一年に一度、地区内のロータリアンが一堂に会し、「機会の扉」を開く場です。時間に限りはございましたが、会場並びにYouTubeでご出席いただいた地区内のロータリアンの皆様方にとって、本大会を通じてロータリーの輪が広がり、有意義な機会になりましたら幸いでございます。

この度の地区大会に対し、多くの温かいお言葉を頂いたことに深く感謝し、お礼の言葉とさせていただきます。



2021年2月 会員の動き

入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類
大津	南口 一樹	住宅販売
五個荘能登川	川畑 祐馬	自動車修理販売

退会者一覧

クラブ名	氏名
京都東山	大木 義秀
福井東	辻 加津己
武生	渡辺 佳男
大津中央	北谷 智子◆
八日市南	井黒 淳

ご逝去一覧

クラブ名	氏名
亀岡中央	森 啓一
やまとまほろば	市田 善幸
福井北	畠中 健司
(敬称略)	
◆…12月退会	

新型コロナウイルス感染第4波

「好天の時の航海は、操船術のテストに最適とは言えません」ポールハリスが1932年2月号に載せた言葉です。当時は1929年9月4日のアメリカの株価の大暴落から始まった世界大恐慌の只中でした。そんな試練の時に述べた言葉なのです。そして、この1年半、私たちは新型コロナウイルスの感染拡大という未曾有の試練の洗礼を受けています。

地区運営という操船も最初から荒波の連続でした。地区行事を開催するかどうか、クラブ例会などの本来自主的に行われるべき行事に口出しすべきかどうか、ローターアクターなどの若者たちの活動への指導介入をどこまですればよいか。ガバナーとして難しい選択を迫られ、それが際限なく繰り返されました。とくに、2021年1月に始まった第3波については、国から2度目の緊急事態宣言が発せられたこと也有って、さすがにクラブの例会運営にまで踏み込んで注意喚起をしました。実際にはクラブの自主性を犯していないのですが、「口出したした」と取られても仕方がない表現だったかもしれません。

ローターアクターやインタークリーク、各種奨学生などの若者に対してはそれ以上でした。厳しく言

わせていただきながら、私は彼らの親御さんや、ご家族を考えていました。たとえ、我が子が成人になったとしても、指導は不要な大人だったという言い訳はできないと考えていました。「勝手にやったことですから」では済まされないことと考えたのでした。

今、2021年4月、間違いなく第4波がやってきます。イギリス型の変異株が日本の若者を中心に拡大すると思います。変異株はこれまでの1.5倍の感染しやすさを持ち、これまでの2倍、5%弱、約20人に一人の割合で重症化するウイルスなのです。重症患者というのは、今のところ、集中治療室に入り常に身体の状況を監視しなければならない人、人工呼吸器を使わないと酸素補給ができない人、体外式膜型人工肺(ECMO)を使って酸素を維持している人であり、生死に関わる危険な状態におかれている人を指しています。また、若者の重症者も多い傾向にあるという報告もあります。

自分自身やご家族の感染予防は自分の力のみが頼りなのかもしれません。

松原 六郎

Rotary



奈良
京都
滋賀
福井

国際ロータリー第2650地区

2020-21年度ガバナー 松原 六郎

ガバナー事務所

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-353-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2020-21@rid2650.gr.jp